

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずTREE 放課後デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 16日		～ 令和6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 11日		～ 令和6年 12月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ほぼ全員が、子供の発達の専門に関わる臨床心理士や公認心理師、保育士の免許を持っている。	事業所として、必要とする研修会、学会に参加できる時間を作ったり、経費の一部を負担し参加しやすいように配慮をしている。	一部の職員の学びだけに止めず、勉強会を施設内で開催し全員がレベルアップできるようにする。
2	個別支援と集団活動の時間を設けることで、職員とも友達とも関係性を築くことができる。	個人の不得意なことを少しずつ練習していく。成功体験を重ね自信をつけていく。集団活動では遊びの相談の時に、自分の気持ちや意見を発言する時間を設けている。	弱点は少しずつ強みにできるよう練習し、強みはより強くできるよう支援していく。
3	指先や体幹を鍛えるために、工作、手芸、などを課題に取り入れている。洗濯干しにも取り組み、しわの伸ばし方や洗濯ばさみの練習を繰り返す。クッキングやヨガ体操、陶芸教室にも取り組んでいる。	季節の工作や、刺繍、巾着、三角巾作りなど、実際に本児が使える物作りをしている。生活に必要なクッキング、買い物、後片付けなども行う。	乾いた洗濯物をたたむ練習やアイロンがけにも定期的に取り組みたい。
4	当施設への送迎か迎えの時に、必ず保護者との面談をお願している。前日の睡眠や食事など生活一般の状況が変わった時など、その日のうちに対応ができる。	短い連絡でもいいが、保護者の方の不安をいち早く気づき、解決の手伝いができる。 必要があると時間が感じた時は、保護者に合わせて、相談日を定める。 また、発達相談や医療機関への受診などを勧奨する。	継続して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施。	保護者様と日々のコミュニケーションを通じ相談にも対応しているが、個人的なトラブルや問題を家庭でどのように対応していくのが最善なのかを時間をかけて支援していきたい。	職員の内外研修の実施参加の奨励を行う。 ふれあいペアレントトレーニング指導者の研修終了者がいるので、その資料に基づいて勉強会など開いていく。
2	共働き家庭が増えているため送迎を希望される方が多いが、送迎車、運転手の人数が限られている。保護者に合わせた送迎は、送迎者2台、運転できる職員が不足しているので希望に答えることが難しい。	一度に送迎できる人数が限られている。	ハローワークに求人を出す。
3			